

札幌大谷高等学校サッカー部

第99回 全国高校サッカー選手権大会

全国大会出場決定!!



2020年12月31日(木) 12:05キックオフ!!

1回戦 vs 大手前高松高等学校(香川県代表)

会 場／味の素フィールド西が丘

写真提供:サッカーダイジェスト

去る10月25日に行われた選手権決勝において、我が札幌大谷高校サッカー部は、旭川実業高校に1-0で勝利し、5年ぶり3回目の全道優勝を飾ることができました。

今年は、3月初旬から6月上旬の3か月間、コロナウイルスの影響で自粛を余儀なくされ、これまでの日常や常識が当てはまらない、本当に難しい状況の中での活動が続きました。その中で選手たちは、ピッチ上で顔を合わせることはできなくとも、同じ夢と目標を掲げ、リモートでつながりながら、「covid-19と戦うことは、自分自身と戦うこと」と信じ「No.1成長率」を目指してきました。活動が再開してからも、その思いは変わりません。

この優勝により、仲間の存在の意味、保護者・学校関係者をはじめ多くの人に支えられていること、そしてこの苦しい状況を過ぎてきたからこそ感じる、サッカーができる・今を生きることができているという生命の本質に触れることができました。優勝という結果以上に、それまでの過程は大切な宝物です。

皆様方には心より感謝申し上げると共に、これから始まる全国大会でも、気候のハンデを創意工夫で乗り越え目標の「全国ベスト8」を目指しさらにサッカーを楽しみ、成長を重ねたいと思います。

今後ともご声援をよろしくお願いします。

札幌大谷高等学校サッカー部 監督 田部 学

札幌大谷高等学校サッカー部を応援します

協賛募金のお願い

全国サッカー選手権出場を支援する会 代表 矢野 勇

札幌大谷高等学校 校長 種市 政己

札幌大谷高等学校サッカー部が、本年12月31日より首都圏で開催される第99回全国高校サッカー選手権大会へ北海道代表として出場致します。選手諸君が北国のハンデを乗り越え、晴れの舞台で思う存分の活躍が出来るよう「全国サッカー選手権出場を支援する会」を結成し、広く各位にご賛同・ご協力をお願いすることと致しました。

皆様方には、時節柄何かと物入りとは存じますが、趣旨ご理解の上、何卒ご協力いただけますようお願い申し上げます。

1. 使途目的

- ①選手・スタッフの全国大会遠征費補助
- ②大会時必要備品購入費
- ③その他

2. 募集期間

令和2年12月1日(火) ~ 令和3年1月31日(日)

3. 募 金 額

1口 5千円

4. 募金方法

- ①郵便局からの振込の場合
番号 02760-8-69817
名称 全国サッカー選手権出場を支援する会
- ②郵便局以外からの振込の場合
銀行 ゆうちょ銀行
店名 二七九(ニナナキユウ)店(279)
種目 当座 番号 0069817
- ③現金持参および郵送の場合
札幌大谷高校事務室内設置の「全国サッカー選手権出場を支援する会」へ、郵送または直接ご持参下さい。

〈問い合わせ先〉札幌大谷高等学校事務室

〒065-0016 札幌市東区北16条東9丁目

電話 011-731-2451 / FAX 011-741-4860

一人ひとりの顔が見えるサッカー
強く&愛されるチームを目指して!



高校サッカー部沿革

- ★2009年 4月 サッカー部 創部
共学となった年に部員11名でスタート
公式戦全敗(初戦0-16)
- ★2010年 4月 公式戦初勝利
- ★2011年10月 高校選手権北海道大会初出場(ベスト16)
- ★2012年 6月 インターハイ北海道大会準優勝
(全国初戦敗退)
- ★2013年 6月 インターハイ北海道大会準優勝
(全国初戦敗退)
- ★2013年10月 高校選手権北海道大会初優勝
(全国初戦敗退)
- ★2015年 6月 インターハイ北海道大会初優勝
(全国初戦敗退)
- ★2015年10月 高校選手権北海道大会2回目の優勝
全国大会にて初勝利を飾る(2回戦敗退)
- ★2016年 6月 インターハイ北海道大会2年連続優勝
(全国2回戦敗退)
- ★2018年 6月 インターハイ北海道大会優勝
全国大会にて初のベスト16へ進出
- ★2020年10月 高校選手権北海道大会3回目の優勝
コロナ禍の逆境を乗り越え、準決勝＆決勝の激闘を勝ち抜き5年ぶり3回目の北海道代表として全国の舞台へ挑戦する！

サッカーは個人の高いパフォーマンスと自己の立ち位置から全体を見通し、集団が動く中で創造的・立体的に考える力が必要なスポーツです。そのために必要なのは、個人として自立すること、よく考えること、仲間とコミュニケーションをとること、つまり人として必要な創造的知性です。

みなさんは、北海道から全国へと発信する新しいサッカーを目指し努力を重ねています。自己の限界を打ち破り、理想を実現すべく全力で頑張って下さい。

札幌大谷高等学校 校長 種市 政己

全国高校サッカー選手権北海道大会、五年ぶり三度目の優勝おめでとうございます。田部監督をはじめ選手・コーチ・関係者の皆さん、本当にめでとうございます。今年は新型コロナウイルスの影響下で練習するのも大変だったでしょうし、これからも御苦労の事と思います。然し、そんな中から掴み取った全国大会出場の切符です。北海道の高校生代表として胸を張って出場し、今迄培ってきた努力・練習・研究の成果をもう一度全国大会で発揮し「札幌大谷高校」の名を聞かせて下さい。「仲間と共に長くサッカーを!そして攻撃的な面白いサッカー」で熱い応援を私達にさせて下さい。ご健闘を祈ります。

札幌大谷高等学校後援会 会長 鈴木 忠壽

毎日練習を積み重ねてきたのが報われましたね。晴れの舞台を満喫して下さい。ご活躍を信じて遠くから声援を送ります。心からお喜び申し上げます。

共学の卒業生が同窓会に入会し、最近の同窓会総会に、男子の卒業生も出席しています。男女共学も進んで男子生徒が伝統を立派に受け継いで活躍の場へと育っているようです。

今回のサッカー部の全国大会における躍進を心から願っています。皆様のご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの言葉と致します。

札幌大谷高等学校同窓会 会長 巖城 慧子



第99回 全国高校サッカー選手権北海道大会 優勝!

写真提供:サッカーダイジェスト

サッカー部の皆さん全国選手権大会出場おめでとうございます。北海道大会決勝で延長戦を経ての優勝、まさに皆さんの日々の練習の成果であることは間違ひありません。

もうすでに監督以下選手の皆さん的心は全国選手権に向けられ鍛錬の日々とは思いますが怪我や故障に気を付けて札幌大谷サッカー部の歴史に新たなる功績を刻まれる事を期待しております。

サッカー部の皆さんの今までの努力が勝利という形になっていくことを心より期待しています、完全燃焼で頑張ってください。

札幌大谷高等学校 PTA会長 岡田 稔也

全道大会優勝、そして5年ぶり3回目の全国選手権出場おめでとうございます!

チームが掲げる「一人ひとりの顔が見えるサッカー」のスローガンのように、部員一人ひとりの、そして保護者の皆さんはじめ関係者すべての喜びに満ちた顔が目に浮かびます。それはコロナ禍で部活もままならず大会開催も危ぶまれた中での、「プレー出来る喜び」「応援できる喜び」であるのでしょうか。そして「強く&愛されるチームを目指して」サッカーファンを魅了する、ひたむきな「札幌大谷」スタイルを貫き、次は全国優勝目指し健闘されることを願い、心より応援いたします。

札幌大谷学園 理事長 石川 誠丈

胸が熱くなる素晴らしい決勝戦。優勝おめでとうございます!

僕がプロサッカー選手として、引退しても一番大事にしている言葉「勝負の神は細部に宿る」

もし今のチームに誰か一人でも、これぐらいだったら、俺一人ぐらいだったら、一回ぐらいは大丈夫ですよ。という考え方の選手がいたら絶対に勝てません。間違いなく隙や綻びが生まれそこを相手に突かれてしまいます。ピッチ内はもちろん、ピッチ外でも常に全力で取り組むこと。一流の選手ほどどんな小さな事でも感謝を忘れません。純粋に思いっきりサッカーを楽しみ、仲間を信じて最後まで悔いなく走り切ってほしいと思います。微力ながら心の底から応援しています!!



スポーツコメンテーター・サッカー解説者・サッカー指導者 大森 健作